

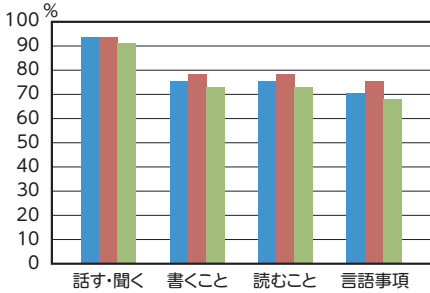
# 平成30年度 全国学力・学習状況調査

4月17日に実施された全国学力・学習状況調査では、美郷町の小学校6年生と中学校3年生が国語、算数・数学の2教科において、基礎的知識を問う「A問題」と知識を活用する力をみる「B問題」にそれぞれ取り組みました。また、今年度は「知識」と「活用」を合わせた内容で理科の調査も実施されました。加えて、子どもたちの生活・学習習慣などを調べるための質問紙調査も行われましたので、結果の概要をお知らせします。

## 概要

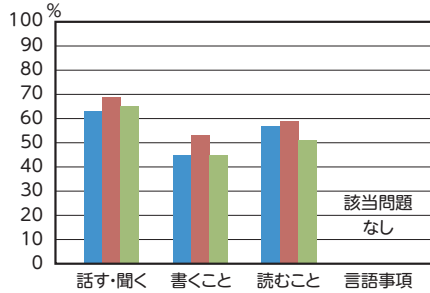
■美郷町 ■秋田県 ■全国

### 小学校【国語A】

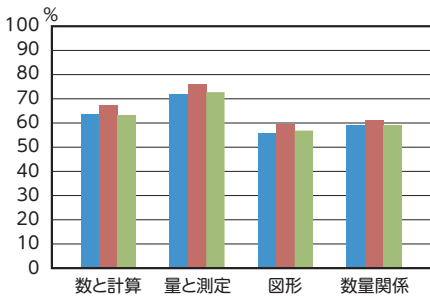


国語Aでは全ての領域で全国の平均正答率を上回りましたが、国語Bでは「話す・聞く」において全国の平均正答率をやや下回っています。話し手の意図を捉えながら聞く力や、目的・意図に応じて内容の中心を明確にして話す力を伸ばす必要があります。

### 小学校【国語B】

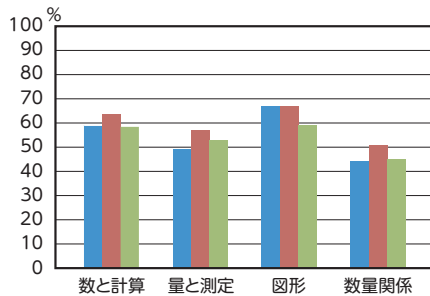


### 小学校【算数A】

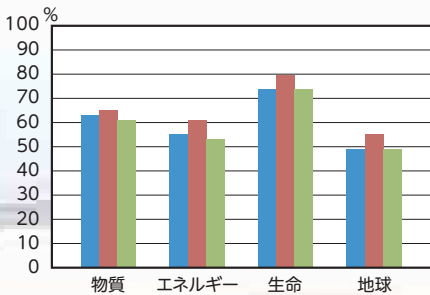


算数Aでは「数と計算」で全国の平均正答率を上回りましたが、他の領域ではほぼ同じでした。算数Bでは「数と計算」「図形」で全国の平均正答率を上回り、昨年の課題であった領域が大きく改善しました。しかし、「量と測定」「数量関係」でほぼ同じか下回り、示された条件などを的確に解釈し判断する力を伸ばす必要があります。

### 小学校【算数B】



### 小学校【理科】



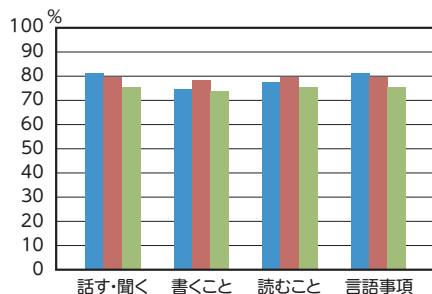
「物質」「エネルギー」の領域で全国の平均正答率を上回っています。他の領域もほぼ全国の平均正答率と同様です。実験結果を基に分析し、表現していく力を伸ばすことが課題となっています。

# 学力調査の結果

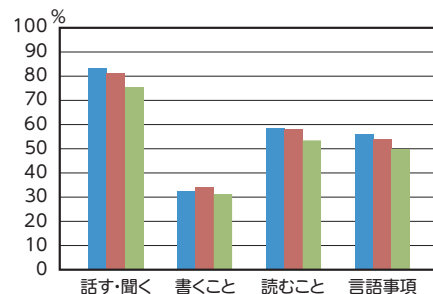
## 総評

各校では、4月の調査終了後に自校採点を行い、課題把握とその克服に向けた対策を実施してきました。また、昨年度課題であった教科や領域を中心に授業での指導方法を改善し、個に応じたきめ細かい指導を行ってきました。今回の調査結果からはこのような地道で継続した取り組みが一定の成果を出しているといえます。今後は各校における現状と課題を明確にし、一層の授業改善を図ることで美郷町の子どもの可能性を十分に伸ばせるように努めていきます。

### 中学校【国語A】

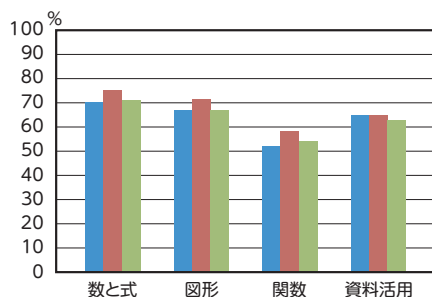


### 中学校【国語B】

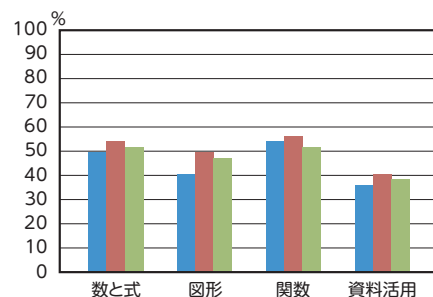


国語A・Bのすべての領域で全国の平均正答率を上回っています。特に国語Aの「話す・聞く」「言語事項」、国語Bの「話す・聞く」「読むこと」「言語事項」は秋田県の平均正答率も上回っており、大変良好であるといえます。今後は目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことを重点にし、一層力を伸ばしていくことが期待されます。

### 中学校【数学A】

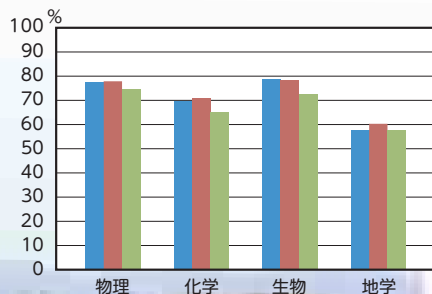


### 中学校【数学B】



昨年度は全領域で全国の平均正答率を下回っていましたが、今年度は数学Aの「資料活用」、数学Bの「関数」で全国の平均正答率を上回り、着実に改善が見られました。弱点克服に向けた継続的な取り組みの成果といえます。今後も各領域の基礎的な知識・技能の定着を図りながら、問題解決のために活用していく力を地道に伸ばしていくことが求められます。

### 中学校【理科】



理科は全領域で全国の平均正答率を上回りました。特に「生物」では秋田県の平均正答率も上回り、他の領域でもほぼ同様になるなど、大変良好であるといえます。実験・観察を大事にし科学的に考察する学習過程を重視してきた成果といえます。